

墨田区総合防災訓練について

1 実施日時

令和元年 9 月 29 日（日） 午前 10 時から午後 3 時まで

2 実施場所

区立錦糸公園（錦糸四丁目 15 番 1 号）

3 参加者数

5,042 人

4 負傷者応急救護訓練

（1）実施概要

多数の負傷者が押し寄せている二次救急病院（すみだ病院）前にトリアージポストを設置し、1 次トリアージを行い、重症者及び中等症者を病院内に搬送（治療等処置は割愛）する。軽症者は緊急医療救護所へ向かわせ、応急手当を受けさせるとともに、医薬品についての処方、OTC 配布訓練も合わせて行う。

（2）連携機関

区災対保健衛生部、墨田区医師会、本所・向島歯科医師会、墨田区薬剤師会、柔道整復師会墨田支部、東京都訪問看護ステーション協会、区内高校生

5 アンケート内容（一部抜粋）

- 観客席から遠いので、見学者から「背中越しで何をやっているか分からなかった」と指摘された。音声での説明より大型モニターで流す等が出来れば良いと思う。
- トリアージ後の傷病者搬送が徹底せず、傷病者が歩いて行ったケースが見られた。
- 医療救護所の資器材が足りない。（口腔内を診るデンタルミラー、デンタルピンセット等）
- （訓練は）全体的にスムーズに進行した。
- トリアージの流れを観客に理解してもらうには、ぶっつけ本番よりシナリオを作った方が良いのではないか。
- 訓練時間が短くて大変だった。
- （訓練想定であった）緑の人数が多かったので、緑タグ担当にもう一人欲しかった。
- 年に 1 度総合防災訓練を行うのは、多種多様な職種の方と連携ができるので、実災害時に非常に有効であると思われる。
- 訓練を年々重ねる度に進行がスムーズに行えるようになっている。
- 事前の打ち合わせ時に包帯等備品の確認を行いたい。